

令和2年度

実施状況管理シート（作成日：R3.3.8）

作業部会名	・病院部会	事務局	・佐渡市 市民生活課
部会リーダー	・佐渡総合病院 佐藤病院長	サブリーダー	・両津病院 石塚院長 ・真野みずほ病院長
担当理事	・佐渡総合病院 佐藤病院長 ・両津病院 石塚院長		
作業部会 構成員	① 各病院管理者または病院長 ② 有床診療所管理者 ③ 佐渡地域振興局健康福祉環境部 ④ 佐渡市		
部会中の 会議体	・地域医療構想会議との一体化を進める		
目標 (ゴール設定)	・持続可能な病院運営 - 「実効性のある機能分担と連携」 -		
具体的な 作業内容	① 病院ごとの機能・病床数・職種配置などの分担範囲を協議 ② 分担範囲を前提とした連携基準の策定 (1) 連絡窓口の一元化と明示（各病院） (2) 紹介・転院連絡の方法及び様式の標準化 (3) 病院機能及び生活支援を踏まえた入院・転院・退院・在宅の標準患者のフローの策定 (医療・介護・福祉連携部会との協働) ③ 病院職員の研修体制の標準化を検討 ④ ③を踏まえた従事者確保方針の意志統一		
年間 計画	令和元年度	<b>【目標】</b> 病床機能を踏まえた病院機能の設定と分担 機能分担を前提とした連携基準・フローの策定 病院職員の研修体制の標準化（学習研修部会と連携）、従事者確保方針の策定	
	R2年度 以降	<b>【目標】</b> 病院機能分担と連携の実践と修正 病院職員の研修体制の試験運用と課題抽出・対応 標準化された研修をベースとした従事者募集の試験運用	

<p>進 捗 状 況 管 理  (令 和 2 年 4 月 ～ 令 和 3 年 2 月 ま で)</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症リスクと各病院における対策のため、部会を開催できなかった 令和2年4月に羽茂病院の有床診療所化（南佐渡医療センター）、新型コロナウイルス感染症の影響から各病院の外 来・入院患者数の減少から収支状況を見通せない状況にある、など病院機能の見直しが必要となっている。</p> <p>令和3年2月18日に開催された地域医療構想調整会議で再評価対象となった両津病院について協議された。 両津病院の移転新築を含めた在り方に関してコンサルタントを入れた検証結果が報告され、共有された。 同調整会議で、佐渡総合病院では看護確保が困難で、労使協定を越える夜勤回数が常態化していることから、3月よ り入院診療制限が必要な状況である、と報告された。</p> <p>今後の病院部会については、新潟県が今年度中に示すとされる病院機能再編を見据えながら、各病院の方向性を再検 討し、病院機能の持続性を踏まえた協議が必要である。</p> <p>（文責：佐渡総合病院病院長 佐藤賢治）</p>
---	---